

平成 29 年 4 月 14 日

各 位

株 式 会 社 ア ク ロ デ ィ ア
 代 表 取 締 役 社 長 堤 純 也
 (コード番号：3823 東証マザーズ)
 問 合 せ 先： 取 締 役 副 社 長 國 吉 芳 夫
 電 話 番 号： (0 3) 5 7 9 3 - 1 3 0 0

営業外費用及び特別損失の計上並びに第2四半期業績予想と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、営業外費用及び特別損失の計上並びに平成 29 年 1 月 13 日に公表した平成 29 年 8 月期第 2 四半期業績予想と本日公表の実績値との差異及び通期業績予想の修正に関して、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用及び特別損失の計上について

平成 29 年 8 月期第 2 四半期会計期間において、支払手数料等 15 百万円を営業外費用として計上することといたしました。また、主に一部のソフトウェア資産について、今後の見通しを勘案し将来の回収可能性を検討した結果、減損処理の実施を判断し減損を行ったこと及び本社事務所の移転を決定したこと等による固定資産の減損損失等を特別損失として 133 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 29 年 8 月期第 2 四半期業績予想と実績値との差異

平成 29 年 8 月期第 2 四半期(累計)連結業績(平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,561	△52	△55	△174	△11.75
今回修正予想 (B)	1,426	△282	△304	△538	△33.41
増減額 (B-A)	△134	△229	△248	△364	
増減率 (%)	△8.6	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績(平成 28 年 8 月期第 2 四半 期)	—	—	—	—	—

(注) 平成 28 年 8 月期第 2 四半期は、非連結決算のため、前期第 2 四半期実績(平成 28 年 8 月期第 2 四半期)の数値は記載しておりません。

平成 29 年 8 月期第 2 四半期(累計)個別業績(平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,253	△69	△72	△216	△14.56
今回修正予想 (B)	1,141	△236	△279	△536	△33.25
増減額 (B-A)	△111	△167	△207	△320	
増減率 (%)	△8.9	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績(平成 28 年 8 月期第 2 四半 期)	1,184	△127	△131	△166	△11.52

3. 通期業績予想の修正

平成 29 年 8 月期通期連結業績予想(平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	3,306	87	80	△42	△2.84
今回修正予想 (B)	2,827	△339	△364	△606	△37.62
増減額 (B-A)	△479	△427	△445	△564	
増減率 (%)	△14.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 8 月 期)	2,280	△330	△368	△504	△34.02

平成 29 年 8 月期通期個別業績予想(平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	2,703	35	29	△118	△8.00
今回修正予想 (B)	2,168	△268	△313	△571	△35.45
増減額 (B-A)	△534	△303	△343	△452	
増減率 (%)	△19.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 8 月 期)	2,241	△293	△315	△451	△30.40

4. 差異及び修正の理由

(1)平成 28 年 8 月期第 2 四半期業績予想と実績値との差異の理由

ふるさと納税向け関連ビジネスの売上は計画を上回って推移したものの、新規で獲得を目指していた VOD (Video On Demand) サービス等のソリューション案件の獲得の遅れや、一部の既存ソーシャルゲームの課金状

況の不調、ゲーム受託開発において受注先との調整により受注時期の遅れがあったこと等によって、個別売上高が 111 百万円、連結売上高が 134 百万円減少いたしました。貸倒引当金 50 百万円の計上及び利益率の高い新規ソリューションの獲得が出来なかったことにより、営業利益が下回り、「1. 営業外費用及び特別損失の計上について」に記載のとおり、営業外費用 15 百万円、特別損失 133 百万円を計上したため、当期純利益が減少いたしました。

(2) 通期業績予想の修正の理由

通期業績については、平成 29 年 3 月 29 日に子会社化した株式会社渋谷肉横丁において展開するサブリース、ライセンス事業が業績に寄与する一方、当第 2 四半期までの既存事業の状況を鑑み、これまで新規で獲得を目指していた利益率を高く見込んでいた VOD 事業等の新規プラットフォームソリューションや不調なゲーム等、今後の業績寄与の見込みが低い事業について停止する等、事業の選択と集中に着手し、収益構造改善に向け、業績計画を大幅に見直しております。このため、個別売上高が 479 百万円、連結売上高が 534 百万円下回る見込みです。当第 2 四半期に販売管理費の大幅な削減施策を実施いたしましたが、第 2 四半期までの業績や下期売上計画の見直しに伴い、利益面については、それぞれ下回る見込みです。

以 上